

2013 年度日本計量生物学会年会 公開版

計量生物が温泉につかる日

佐藤俊哉(京都大学医療統計)

2013 年 5 月 22 日(水)

京都駅で福島までの往復の乗車券と東京－福島間のやまびこの予約、エクスプレス予約の指定券を受け取って、12 時 53 分発ののぞみに乗る。今回の旅の友はジェフリー・アーチャーの新作「時のみぞ知る」。ジェフリー・アーチャーの小説はいずれもおなじような内容にも関わらず、やっぱりストーリー展開はうまく、あつという間に引きずり込まれる。途中、インターネットに接続しメールを書き、講義の準備を少しする。

東京駅でやまびこに乗り替え、なんと丹後さんと山岡さんがおなじ車両。「時のみぞ知る」、のぞみとこのやまびこ1時間半の車中でだいぶ読んでしまったので、大事に読むことにしよう。福島からは福島交通飯坂線で飯坂温泉まで行くのであるが、この乗り換えが新幹線口からけっこうかかる。なかなか駅が見つからず、だんだん不安になる中、やっと乗り場を見つけて乗り込むと統数研の逸見さんがすでに座っていた。どこに泊まっているのか聞くと、学会幹旋の吉川屋に久留米大 服部さんたちと急遽柳川先生も加わってバトルがくり広げられるとのこと。逸見さんは柳川先生なんかやっつけてやる、と意気込んでいた。(ウソ)

逸見さんは宿までタクシーで行くというので飯坂温泉駅で別れ、セブンイレブンで水を買って今回の泊りの福が住むという[福住旅館]に向かう。グーグルストリートで予習してきたのだが、グーグルの難点はアップダウンがわからないところ。それでも歩きだして 3 分くらいで到着したので拍子抜けする。これなら明日の会場のパルセいいざかまでも 10 分かからない。チェックインというのか受付して、クレジットカードが使えないことがわかりしまったなあ。念のため現金を少し余計に持ってきて正解だった。部屋はビジネスホテルよりも広いくらいの、ひとりで 10 畳以上。風呂は温泉なので大浴場だが、ウォッシュレットが部屋についている。

そうこうしているうちに 7 時となったので晩御飯を食べに。インターネットで検索した[紫明]というお寿司屋さんに。飯坂の名物は餃子、ラーメンのようなのだが、せっかく福島にきたので今日は魚を食べよう。紫明は旅館から歩いてすぐのところで、入るとお客さんはゼロで店主がひとりでひまそうに新聞を読んでいた。見た瞬間『×××』の 3 文字が頭をよぎったが、客ゼロのところに入ってしまったのでしかたなく、特上握り 2100 円を。客は一人なのにこちらのペースなどなんのその、一瞬で一人前がでてきた。わさびは練りわさび、予想通りのすしであったが、一部のネタはまあまあだったので、今日はこのくらいにしておく。

部屋に戻るともうふとんが敷いてあった。さっそく風呂に行き、湯は熱く、半身浴をしたら汗をかいてしまう。マッサージチェアがあったので 15 分ほど揉まれてから部屋に戻る。

夜はけっこう寒く、テレビを見たり本を読んだりして 12 時過ぎに寝る。

23日(木) 学会初日

8時に朝食が運ばれてきた。とうふと甘味噌、焼き鯖きのこの佃煮添え、納豆、海苔、たらこ、ひじき、ハムと千切りキャベツ、ご飯、みそ汁、漬物と梅干、といういかにも東北らしいしょっぱいもののオンパレード。久しぶりに東北の味だ。それにしてもみそ汁はしょっぱすぎて、お湯で薄めたくらい。温泉卵を残したのだが、しまった、あれが飯坂名物『ラヂウム玉子』だったのか? 明日は食べてみよう。

9時過ぎに宿を出発。いい天気だ。ぶらぶら歩いたつもりが、ものの数分でパルセいいざかに到着。受け付けに行くと大橋会長の秘書さんの飯塚さんが受け付けをされていて、お久しぶりとごあいさつ。旦那さんの佐藤喬俊さんもいらしていた。京大 寒水さんもちょうどきたところ。会場にコンセントがなくちょっと困ったが、まあないものは仕方ない。パルセいいざかは立派なホールで、聞くところによるとつい先日宝塚がきて公演していったとのこと。まあそのせいでお値段も立派で、会計理事の保健医療科学院 高橋さん、ビビッてしまったそう。それが大橋会長の尽力と福島市の補助で半額にまでなった。今回、医療統計からは、小谷さん、飯島くん、鈴木さん、高田くん、中川さんが来ていた。あとで松田さんにも会う。

大橋会長が開会のあいさつで **Kyoto Heart Study** のことを話していて、どうも医者は無知だっただけで、解析をした人(企業の人間)のいいなりだったらしいとのこと。なので計量生物学会で「統計家の行動基準」を作っているのはタイムリーである、と話をまとめていたのはすばらしい。午前のセッションは聞くとはなしに聞き流していた。「一般講演の限られた時間内ではけっして話し終えられないような“大ネタ”を出してきて、案の定『時間切れ警告りん』が連打されているなう。ベテランだからこそこういうことをしてかしてはいけないのです。」「いかにこみいった難解な講演内容であっても、みごとに講演時間内に収めきることはきわめて“教育的”だと信じる。」(詠み人知らず)ベテランではないからいいのか。

ポスターセッションは見るとはなくみて、12時20分から理事会。10分前に理事会の会場に行ってお弁当を食べる。会場のお弁当は1000円もして、以前の理事会のときに福島にしては高いと文句をいったのだが、やっぱり福島で1000円の弁当は高い。理事会は今回の年会でお金のことがいろいろあったので、そこで時間がかかる。最後に、年会の日程が平日だと最近講義を休講にしにくいので、春休みに開催してはどうかと応用統計学会で話題になったそう。

理事会は予定より少し早く終わり、13時半からは特別セッションの「臨床試験における欠測データについて」。小野薬品 富金原さん、興和のもとい菅波さんのオーガナイズだが、企画段階から、このセッションは演者が多すぎると批判的で、絶対に時間内に収まらないと予言していた。(演者5人+指定討論は無理でしょう。)京大薬剤疫学の田中司朗さん、北大の伊藤さんは IOM 委員会の報告書(NAS のレポート、とみなさんいっていますが **Institute Of Medicine** ですね)の紹介。そのあとは企業の人の話だが、ファイザーは××××。講演の最後は東北大 山口さん、菅波さんが IOM の報告では感度解析というのを **MAR**なのか **MNAR**なのかを指していて、**MAR**の中で解析方法を代えたものは感度解析と

は言っていない、と紹介して、山口さんもその通りだと思うといていた。感度解析というのは解析に必要な仮定を代えた場合に結果がどう変わるか、だから、欠測の問題で一番大きいのは欠測メカニズムに関する仮定なので、IOM の報告は正しく使っていると思う。最後は機構 安藤さんの指定討論、と思ったら富金原さんが欠測の取り扱いに関する調査結果の報告をはじめ、その後で安藤さん。なんだかとっても駆け足のセッションで、質疑の時間は質問も出ず、菅波さんが一人でしゃべっていた。時間内には終わったものの、なんだかなあー。

特別セッションが終わったら、みなさんほとんどいなくなってしまった。実はわたしも、突然研究科長から降ってきた医学部の数学基礎教育に対する要望書のとりまとめ、なんぞをやっている。機構に月曜の第二部会のメールを送ったら、安藤さんが東京経由でコメントが転送されてきましたといていた。恐るべし、機構。今日は 18:10 からの評議員会で終わり。評議員会は明日の総会の議案の承認で、小一時間で終わった。

今日は餃子だよね。というわけでネットで評判の〔照井〕に。なんと7時すぎだというのに並んでいて、ふとみると昭和の大の松井さんが二人前に並んでいたのが一緒する。奥では大橋研の面々が大挙してきていた。餃子(一人前で22個)、名物の野菜炒め、おしんこを頼んで生ビールで乾杯。「円盤餃子」という触れ込みであるが、なんのことはないフライパンで丸く焼いているだけだし、裏がパリパリ、表はもっちり、というのも、なんだか揚げ餃子のようで、おいしいことはおいしいが、ふつーの餃子のおいしさ。それよりも野菜炒めがうまかった。奥に小谷さんが会社の人として、帰るまで陰でみえなかったのだが、お銚子がごろごろと何本も並んでいたのは見逃さないよ。ピリ辛メンマと焼きそばを追加し、ビールももう2杯おかわりしたらもうお腹いっぱい。

宿に戻ってお風呂に。今日も貸切。風呂上りにマッサージチェアで15分揉まれた。またテレビをみたり時のみぞ知るを読んだり、今日は隣に団体がいて大騒ぎをしているが、疲れたので11時半に寝る。

24日(金) 懇親会

今日も8時に朝食。今朝は温泉卵がなく大失敗。ハムエッグ、とろろ、たらの西京漬、わさび漬、切り干し大根、白魚の酒のつまみみたいなもの、かまぼこ、たらこ、山菜の味噌漬、のり、漬物、梅干し、みそ汁、と今朝もしょっぺーもののオンパレード。昨日も思ったのだが、これを夕食で出してもらいお酒を飲み飲み食べたいくらい。(なんだったら朝酒も辞さないが。)夕べ食べ過ぎたので今日はおとなしくと思ったのだが、起きてみると意外と食べられ、目玉焼きご飯、とろろご飯をやっつける。

会場には9時10分ごろ到着。福島民報の朝刊に「日本計量生物学会開催」、「福島出身の大橋会長」、「明日は市民講演会」といった文字が躍っている。最初のセッションは疫学。大橋研の学生だった川原さんがケース・コントロール研究を逐次的に行うという提案。はじめなにをいっているのかわからなかったが、エクオール(イソフラボンの代謝物)と前立腺がんの関係を調べたいのだが、検体の測定にお金がかかるので節約したいとのこと。それでケー

ス・コントロール研究を逐次的にやる、というのであるが。最後はサノフィの石塚さんが、傾向スコアの話。内容がよくわからず基本的なことを確認するも、要領を得なかった。終わりに座長の横浜市大 田栗さんと傾向スコアのことで少し話す。

計量生物最後の講演は今年の学会賞受賞者の大阪大学 上坂さん。学会賞受賞講演はみなさん『これまでの歩み』のような発表で、上坂さんも例にもれずその流れ。時間いっぱい使って講演終了、引き続き総会。大橋会長みずから内容説明をして、予定よりもだいぶ早く終了となった。企画担当の服部さん、みなさん、ご苦労様でした。福島開催で参加者数をたいへん気にしていたのであるが、180 名近い参加者があり、わたしが会長のときに福島開催を決めたので、ほっとした。来年は応用統計の担当で東京開催の予定であるが、再来年は京都でやってもいいという、大橋会長も乗り気。あとで応用統計の川崎会長と相談すること。

今日のお昼は飯坂ラーメンを食べる予定。小谷さんがコンビニおにぎりを買ってきていて会場にいるというので、荷物を預けて[保原屋食堂]に向かう。ホテル聚楽の向かいとのことで、見当をつけて歩きだし、10 分弱で到着。店に入ると誰もいないので、一昨日のすし屋の悪い予感が頭をよぎる。ネットで調べた「ごますり」ラーメンを注文。待っている間にお客が二人入ってきて一安心。ごますりラーメンは、辛くない担担麺のようなもので、残念ながらお味はきわめてふつー。帰りはショートカットしたらなんのことはない会場から数分の距離だった。

会場に戻って応用統計の受け付けを済ませ、ふらふらしていると菅波さんがちょっとちょっとと呼んでいる。なんでも菅波さんは7月に北京で開催する EAR-BC の Invited Session のオーガナイザーなのであるが、会社からは許可がでないので旅費がでないとのことで、計量生物学会から補助してもらえないか、というのであるが、言下に「だめ」。もうひとりのオーガナイザーの富金原さんが行くからいいじゃないか、という、「フキン、フキーン」このふたりは大学で同期。そのうち安藤さんも加わって無駄話がはじまった。そうこうするうちに同志社大の大森さんが弁当を持って現れ、なんでも菅波さんはお弁当を予約し忘れていて、誰も取りに来ないお弁当があったら食べよう、ということにしている、お弁当が余ったので食べましょうということ。ちょうどいい機会なので無駄話を打ち切り会場に戻る。

会場はビッグデータの2席目で、モバイル人口だかなんだかで、ケータイ電話はどの基地局が近いか1時間ごとに電波を発信して検索しているそうだが、そのデータを使うと、ケータイを持っている人がどこにいるかが1時間おきにわかるそうで、しかも性別、年齢別にわかるとのこと。と、ここまではまあいいのだけど、次にケータイの所有者の居住地別にもわかります、さすがにそれは利用者の同意がないとまずいのではないかと。司会の統数研 椿先生も個人情報、と言っていたが、どうなのだろう。(契約書に細かい字で書いてあったりして。)3席目は東大の小出さんがナショナルレセプトデータベースと SS-MIX の話。最後は東大の康永さんが DPC データ。

16時にビッグデータは終わり、荷物を置きにいったん宿に戻る。部屋でくつろいでいて、ふと『そうだ一風呂浴びよう』と気がつき、風呂に入り、マッサージチェアにかかり、5時15分

頃再び会場に。あとは 6 時から懇親会。と、途中の足湯(飯坂温泉にはあちこちに無料の足湯、有料の温泉がある)に喬俊さん、寒水さん、冨金原さんが。「またみんなでさぼって」と、自分のことを棚に上げて注意する。懇親会はなかなか豪華で、会長差し入れの日本酒は福島の銘酒[大七]。ワインも山形の高畠ワインを取り寄せたとのこと。大橋会長の挨拶と福島県立医大 柴田先生の乾杯で宴会がはじまる。京都市には「清酒の普及の促進に関する条例」というものがあり、乾杯は日本酒でなければならない。この京都市条例を盾に取り、当然のように喬俊さんと日本酒で乾杯。

フードもいろいろあり、食べ過ぎなのでつまみをつまみながら、大七を飲む。大森さんはなぜか学部学生を連れてきていて(バイトのようですが)、彼らを前に菅波さんが例によってえらそうにしゃべっているのので、「この人の言っていることは信用してはいけない」と注意しに行く。そうしたら「この人は京大教授のくせに人を『でぶ波』呼ばわりする。倫理的に問題ではないか」と菅波さん。(じつはこの日記の「教室版」ではこれまで「菅波さん」と書いてあるところがすべて「でぶ波さん」になっているのであるが。)MBDD(Model Based Debu Development)のくせに「でぶ」はいやだというので、それでは「太波」はどうかというと、そのほうがいいというので、今後は「太波さん」と呼ぶことになった。8 時までさんざん飲んでいい気持ち。服部さんが二次会に行くというので合流し、駅前の居酒屋 源で久留米大の野村さん、九大の二宮さんたちと再合流。地元のお酒に生ビール。服部さんは生玉ねぎが大好きだというので、みなさん服部さんと飲んだ時には「玉ねぎスライス」を注文してあげよう。

さんざん飲んで、福島組と吉川屋組はそれぞれタクシーで、近隣組は三々五々徒歩で解散。宿にもどるとだれもおらず、カウンターに鍵がぽつんとおいてあり、部屋に戻ったのは 11 時半ごろ。最後なのでもう一風呂浴びて、寝たのは 12 時過ぎ。明日は残念ながら所用のため帰らなければならない、これで今年の計量生物学会はおしまい。

みなさん 2 年後の京都にぜひお越しください。
(あつと、来年の東京開催も忘れずに参加してね。)